

海外農業研修報告書

岩崎 真衣沙

2018/8/4

オランダで生活をして4ヵ月が経とうとしています。よく新聞や雑誌を見るのですが少しだけオランダ語が読めるようになってきて嬉しく思う頃です。

最近のところ、オランダの天気は快晴が続いており、2ヵ月ほど雨が降らないという異例な天候になっていました。実際のところオランダは、晴れる日は少なく、曇りもしくは雨が多いと聞きました。そのため今年は火事が起きたり、農作物が大変打撃を受けてしまったりとニュースや新聞に頻繁に取り上げられていました。気温も30°C越えは当たり前で牛や植物、人にとっても大変苦しい天気でした。



水不足で茶色く枯れてしまった牧草地

今回はマイス (mais) の成長過程について話します。マイスは牛にあげる餌のコーンのことです。

5月の初めごろにマイス (赤く塗られているもの) の種をまきます。(5月の海外農業研修報告書の後半に少し書きました) 写真のように均等な距離で地中に埋められます。



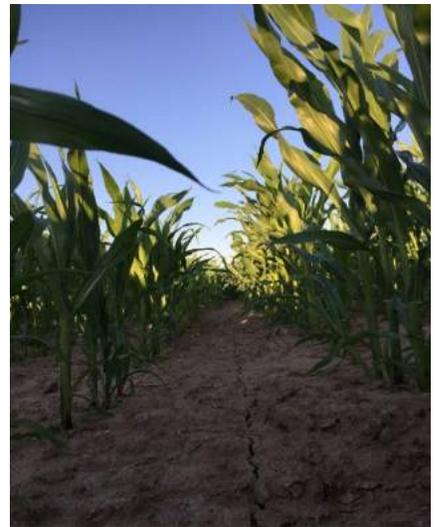
5月の終わりごろの様子です。あちこちに芽が出始めました。



6月初め頃の様子です。かなり成長が早く驚きました。30cmほどに成長していました。



6月の終わりごろです。このころから雨があまり降らない日が多くなってきました。そのため地表もかなりひび割れが目立ち始めました。



7月はじめの様子です。小さく実ができ始め、雄花もあちこちで見かけるほどになりました。相も変わらず快晴です。



7月終わり頃の様子です。実も以前に比べて大きくなりました。身長もはるかに私を超え、埋もれてしまう状況です。



剥いてみた様子

少しかじってみたものの、あまりおいしくはありませんでした…

あまりにも雨が降らないため irrigation machine (農作物に水を撒く機械)で水を与えているときの様子です。



今回、今の現状を目の当たりにして分かった、雨が降らないことでおこる大きなデメリットは

- ・農作物が成長しない
- ・牛の放牧に影響が出る（食べる草がないため）
- ・irrigation machine の準備、移動、設置に時間が取られ、仕事に影響が出る
- ・irrigation の設置によって犠牲になるマイスが増え収量が減る
- ・労働時間の増加

といったところです。

7月を振り返って

本当に暑い日が続き日中はもちろん、夜も寝苦しい日があるほどでした。スペインでは50度近くを記録したりと、今年のヨーロッパは異常気象なのかもしれないと思いました。8月に入ると雨が続くそうですがそれはそれで土砂災害が不安になります。もうすぐで放牧も終了するということなので、少しでも涼しい気候になって牛を出したいなと思っています。